

(六) 時事問題研究会開催の件

提 案 大阪印刷出版労働組合

年々世界に起り来る虞の種々の時事問題(例へば印度の反英運動、ロンドン軍縮會議等々の真相と實體を知り之に階級的批判を加ふることは吾等の日常闘争の上には非爲さねばならぬ事である。依つて斯かる時事問題の研究會を開催されん事を希ふものである。

實行方法

- 一、毎年三回乃至四回聯合會主催の下に定期的に開催する事
- 二、研究問題は各組合又は聯合會教育部より提出し聯合會委員會一任
- 三、費用の擔負及び徴収等は聯合會委員會一任

(七) 産業合理化反對に關する件

提 案 關西紡織労働組合

理 由

二四
日本資本主義の行詰りの打開策としての産業合理化は、凡ゆる産業部門に及び、今や資本の構成に於いて利潤率の最多なるをほこつてゐた、紡織産業にも及び、賃銀低下、時間延長、強制労働、強制歸國となつて現はれて來てゐる鐘淵紡績の四割値下は其の最も露骨なる資本の攻勢の現はれである。
産業合理化は労働者階級を、極度の搾取の機械と化し、資本の奴隸となす以外のなものでもない。資本主義が續く限り産業合理化は労働者階級を搾取し、永久に強行せらるゝものである。
合理化は單に表面的なる解雇、賃銀値下等によつてのみ行はれるものであると思つてはならない。組織的に強制して行はれる、個人に巧妙に行はれる。労働者が此に對して一つの力として起る上ることの困難な状態に於いて行はれることを知らなくてはならぬ。例へば轉部に依つて不熟練であるとの理由を以つて行はれる賃銀値下、日給を出來高給に、出來高給を日給に變更し、其の間に行はれる賃銀値下、賃率を僅かづゝ十數回に涉つて行はれる賃銀値下、これ等は決して全労働者に同時に行はれず、個人又は少數の人々に順次行はれつゝある。其れだけ産業合理化の結果は大なるものとなるのであり、労働者搾取が強化せられるのである。

産業合理化の本質手段等を大衆に曝露し、組織動員し強力なる闘争を敢行し、以つて資本の攻撃を防がなくてはならぬ。
然かして産業合理化反對運動はかならず、失業反對運動に結びつなくてはならぬ。

決 議

労働者を犠牲として行はれる産業合理化の一切に反對し強行に強力なる闘争を以つて紛停せんとするものである。

實行方法

- 一、産業合理化の本質を演説會、ピラ、傳單等によりて曝露すること
- 二、凡ゆる機會に反對すること

(八) 争議基金積立に關する件

提 案 關西紡織労働組合

理 由

世界的傾向として争議は長期に深刻になりつゝある。此れは明かに資本主義の行詰りを打開し、極度の搾取を強行

せんとする、資本家階級のモガキと攻勢が争議を長期に涉らしめてゐるのである。故に吾等も勝利を得るためには、絶対に長期の戦ひを必要とするに至つてゐるのである。案かして長期の戦ひには資金の多寡がそれを決定する。ましてトラストを結成し、大なる實勢力を有する紡織資本家と戦ふには多額の争議基金が絶対に必要である。故に常に基金を積立て、置くべきであり、この力を以つて戦はなくてはならぬ。
然かし其金の積立ては、一支部に於いて行つては決して多額にならないと同時に有効に使用され得ない。故に組合又は聯合會に於いて積立て有効ならしめんとするものである。

決 議

産業合理化の強行せられつゝある今日、此れと戦ひ徹底的なる勝利を得るためには、争議基金の積立ては絶対に必要である。争議基金の積立は有効確實なる方法を撰ぶことが必要とする。故に左の實行方法によりて積立をなすべきである。

實行方法

一、積立方法

- (1) 各支部は一名に付二錢を毎月組合本部争議基金に積